



## 杉戸町ゼロカーボンシティ宣言

近年の平均気温の上昇、大雨の頻度の増加により、農産物の品質の低下、災害の増加、熱中症のリスクの増加など、気候変動及びその影響が全国各地で現れており、気候変動問題は、人類や全ての生き物にとっての生存基盤を揺るがす「気候危機」ともいわれています。

今後も、地球温暖化の進行に伴い、猛暑や豪雨のリスクは更に高まることが予測されており、このまま何も対策しなければ、今世紀末には、平均気温が上昇し、猛暑日の日数が増加するという予測結果が示されており、地球温暖化対策は「待ったなし」の課題となっています。

こうした状況を踏まえ、2015年に合意に至ったパリ協定では、国際条約として初めて「世界的な平均気温上昇を産業革命以前に比べて2℃より十分低く保つとともに、1.5℃に抑える努力を追求すること」を示しました。2020年10月には、我が国においても、「2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、すなわち、2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことが宣言されました。

杉戸町でも、近年、年平均気温の上昇や真夏日日数及び熱帯夜日数が増加の傾向であることが確認されており、豊かな自然環境を守り育み次世代に引き継ぐため、町民、事業者、町が一体となって、環境保全・省資源・脱炭素型ライフスタイルへの意識啓発など、脱炭素の取り組みを強化していく必要があります。

こうした背景から、町民、事業者、町が一体となって2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにすることを目指し、「杉戸町ゼロカーボンシティ」の実現に向けた取り組みを進めていくことをここに宣言いたします。

令和6年4月1日

杉戸町長

窪田裕之